



## ブラック・スワン食糧保障

ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2022年11月配信号

「輸入に依存する種・化学肥料...島国特有のリスクも発覚！」

我が国の食糧安全保障は大丈夫か？」

皆様、こんにちは。

今回は参政党の勉強会で、農業経済学がご専門の鈴木宜弘東大教授が公演されていたお話をご紹介します。

私自身は「野菜は大丈夫だろう」と思っていたのですが...「種」も備蓄が必要になるのかもしれません。

また、思わぬとばっちりで、特に我が国が飢餓に陥るとい国際的な論文が発表されているとの紹介もショックでした。

以下、鈴木教授のお話です

~~~~~

日本の食糧自給率は37~38%といわれるが、野菜の自給率は80%を超えている。

しかし、「種」の自給率は10%しかなく、物流が止まってしまうと、計算上8%にまで下がってしまう。

米に関しても、以前は国が資金を出して農業試験場で品種改良を行っていたが、現在はやめてしまっているので、いずれ野菜と同じ状況に陥る可能性はある。

畜産飼料に関しては言わずもなげで、卵の自給率は100%であるが、エサは100%海外依存なので、物流が止まればアウトである。

化学肥料の原料もほぼ100%海外依存で、主な輸入先がなんとロシア、ベラルーシ、中国といった既に禁輸が決まっていたり、今後「敵国」になる可能性が高い国々である。(そういえば、園芸用肥料も高騰してました。肥料が高すぎるので、今年の作付けをあきらめた農家も多いと聞きます)

アメリカのラトガース大学が、今回のウクライナ戦争で話題になっている、小型戦術核の使用など、「軽微な核戦争」が起こった際の犠牲者数についてシミュレーションを行った。

その結果、初期の死者は2700万人だそうだが、それにより貿易が止まって、2年後には餓死者が2.5億人に増え、そのうちの`3割は日本人である`という衝撃的な結果となった。これは我国人口の6割、7500万人ということである。

もちろん米露、米中などの大規模な核戦争が起こった場合は、物流が完全に止まってしまい、`日本人はほぼ全滅`とされている。

~~~~~

防衛予算の問題はやっと取り掛かるような兆しが出てきましたが、これとセットで食糧安全保障の問題も重要であるという事が浮き彫りになった形です。

ブラックスワン食糧保障 草間 弘人

正しく表示されない場合は[こちら](#)  
今後も引き続きメールの受信を希望される方は [こちらをクリック](#) してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます](#)。

大阪市港区 弁天1-2-1

[配信停止](#)

